

# 食・農と健康の連携を通じた地域活性化に向けて

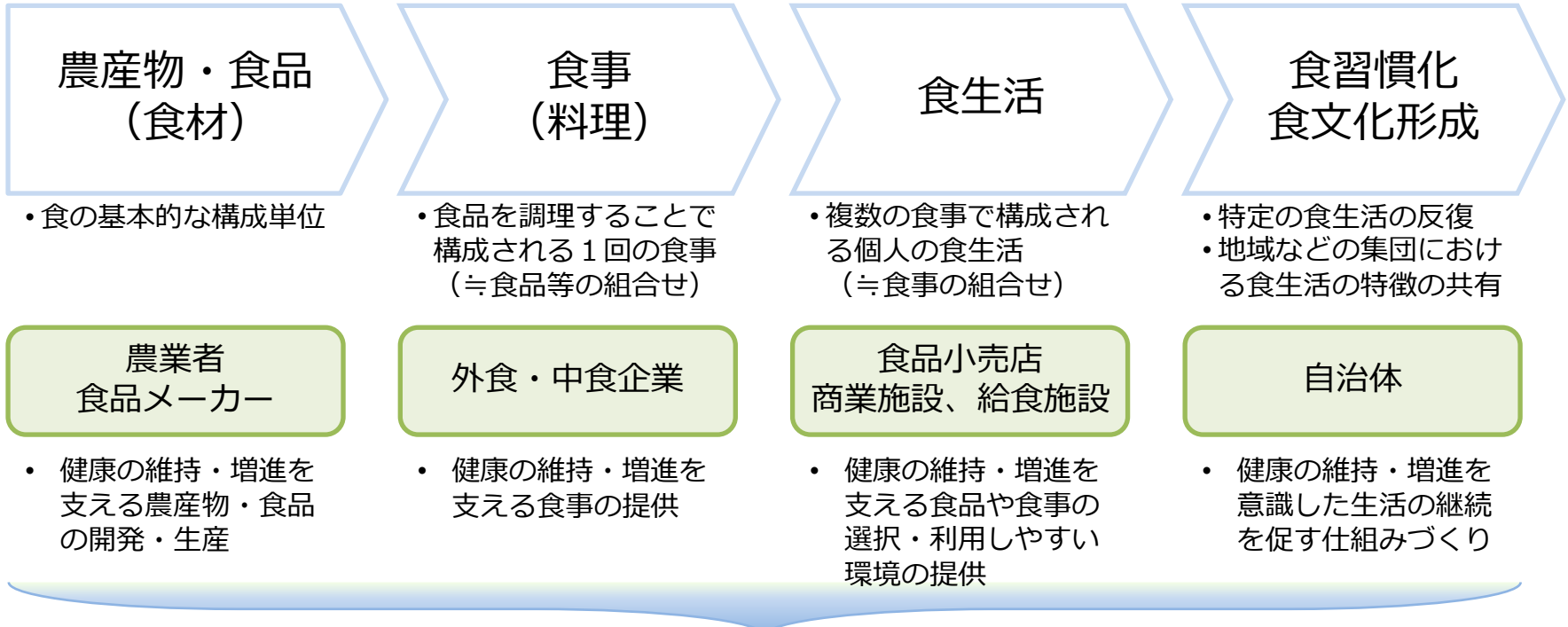
(次世代ヘルスケア産業協議会 新事業創出WG (第2回) 資料)

---

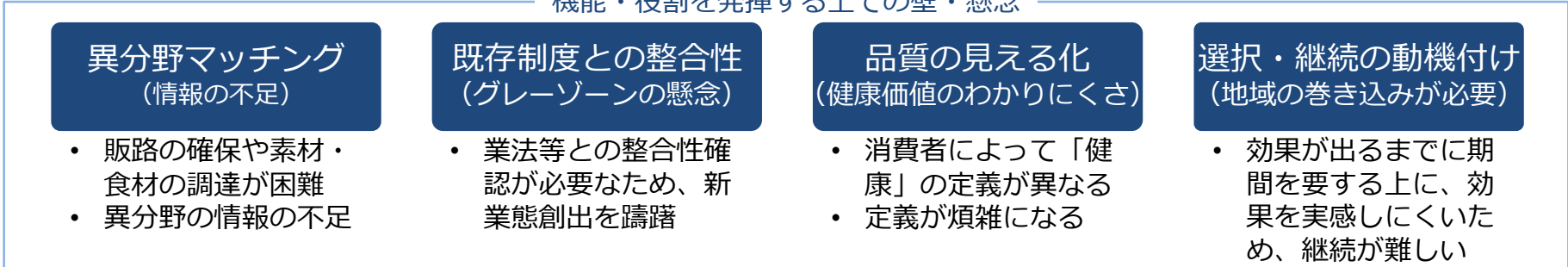
平成 2 7 年 3 月

**農林水産省**  
**食料産業局**

- 健康の維持・増進に寄与する**農産物・食品の供給する「産業づくり」**から**健康の維持・増進に寄与する食生活を習慣化する「まち・むらづくり」**までを一体的に実現することが重要。
- また、さまざまな食・農関連の事業者や自治体に関与するが、**各関係者が期待される機能を発揮できるように施策を講じ、環境を整備していくことも重要。**



機能・役割を發揮する上での壁・懸念



# 【課題確認】 食・農を通じたヘルスケア産業を振興するための環境整備に当たっての視点

- 「食・農」、「まち・むらづくり」の観点から「健康の維持・増進」に寄与するヘルスケア産業を振興する上で、**次の点について関係府省と連携し、取り組むことが必要**である。

異分野マッチング

→ ① 異分野間・地域間のマッチングを通じた事業機会の創出

制度との整合性

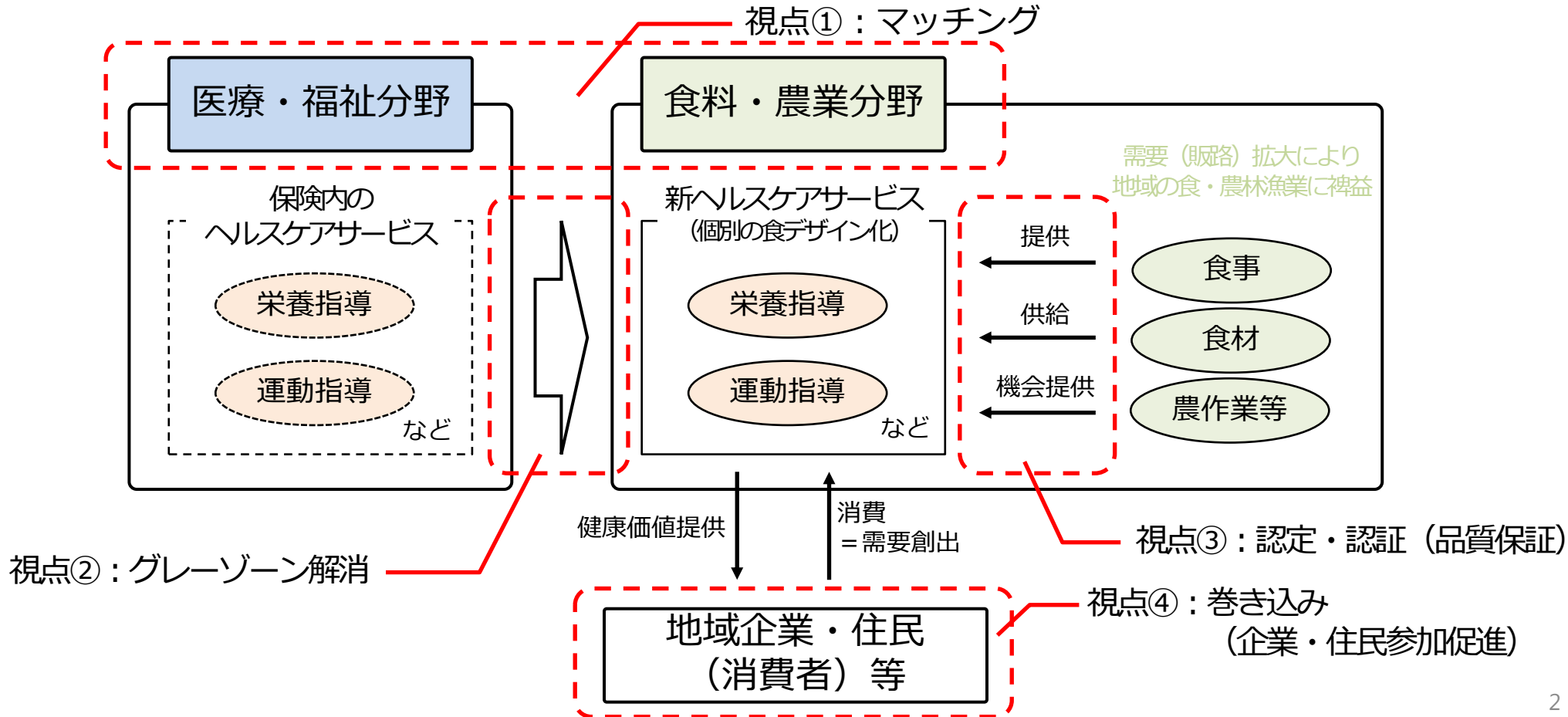
→ ② 新たな業態に係るグレーゾーン解消による事業機会の創出

品質の見える化

→ ③ 自主認証・認定等の体制整備を通じた品質保証の仕組みづくり

継続の動機付け

→ ④ 地域に根づいた持続可能な産業を築くための仕組みづくり（企業・住民の参画）



# 【施策展開】食・農を通じた健康を支える食生活インフラ整備パッケージ

- 前頁の視点について、関係府省との連携により、以下の施策を講じていくことが必要。



マッチング

### 事業の目利きの把握

- 事業創出や食品等の販路開拓を行う事業の目利き人の把握

### 既存食関連DBの課題整理

- 農産物・食品、成分等の既存データベースの現状把握と連携促進
- 健康アプリや地域コホートの活用等、データ集積方法の検討

### 人材拠点の整備

- 地域版協議会の活動を支える人材や起業する人材等を育成・確保する仕組みの整備

### 食と医のビッグデータ検討

- 食・医の連携に関する課題と対応
- ビッグデータを活用した食生活改善プログラム、農産物・食品、食サービス等の開発モデルの検討

次世代ヘルスケア産業を推進する人材の供給

ビッグデータを活用した事業創出、まち・むらづくり

グレーゾーン  
(参入促進)

### モデル事例の課題整理

- 既に顕在化している事例を基にグレーゾーン懸念が不要なケースを整理し、事例集として提示

### 新たな事例の掘り起こし

- 地域協議会の動きに併せながら、手当ての必要な事例の掘り起こしを進める

グレーゾーン解消による新業態の参入促進・産業化

品質確保  
(消費拡大)

### 第三者認証のあり方検討

- 民間・自治体による認証・認定制度の活用促進及び品質・信頼性の確保について現状把握、課題整理、方向性の提示

### 第三者認証ガイドライン

- 課題整理、方向性に基づいて、ガイドラインを整備するとともに、ガイドライン適合機関の認証等について消費者へ周知・普及

「健康」に関する民間認証の普及と消費拡大

地域づくり

### 先進事例の共有化

- 健康づくりの枠組みの中で食需要を創出している事例等の情報共有
- 先進事例を分析し、モデル地域の要件を定義

### モデル地域認定

- 食による健康モデル地域づくりの認定制度
- 認定地域での産学官連携による食生活改善を通じた医療費削減効果実証⇒投資インセンティブ

地域ぐるみの食関連ヘルスケア産業づくり